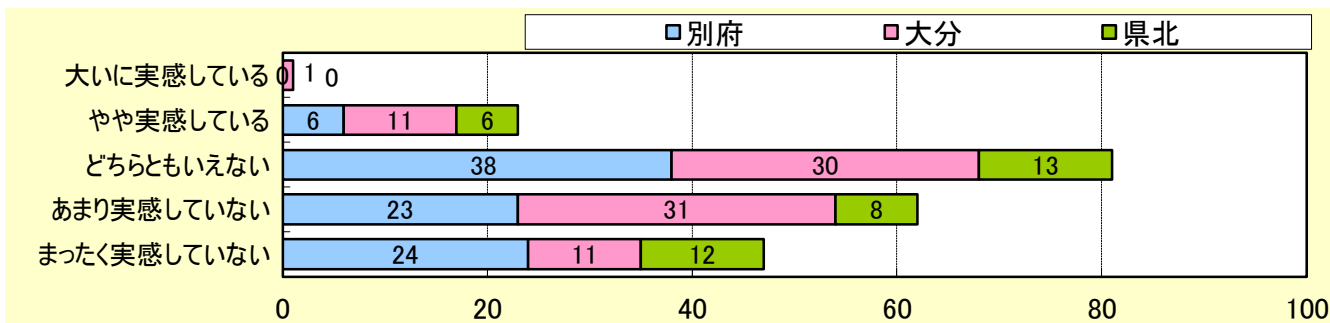


中小企業における『成長戦略』への期待について

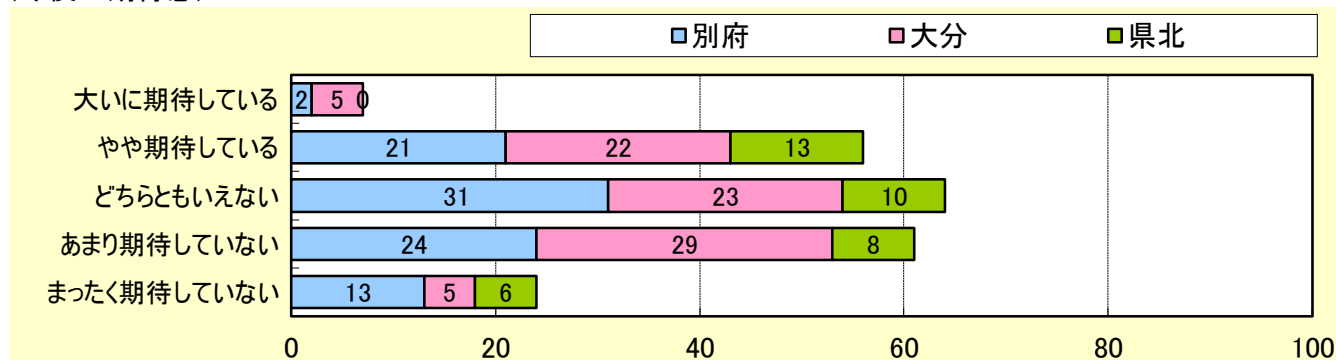
2014年7月～9月期 景気動向 特別調査 調査先215先

問1 本年6月に政府が打ち出した新たな『成長戦略』では、いわゆるアベノミクス効果について「日本経済はあらゆる面で上昇局面に向かっている」としています。貴社では、アベノミクス効果をどの様に捉えていますか。これまでの実感について1～5より1つお答えください。また、今後の期待感について6～0より1つお答えください。

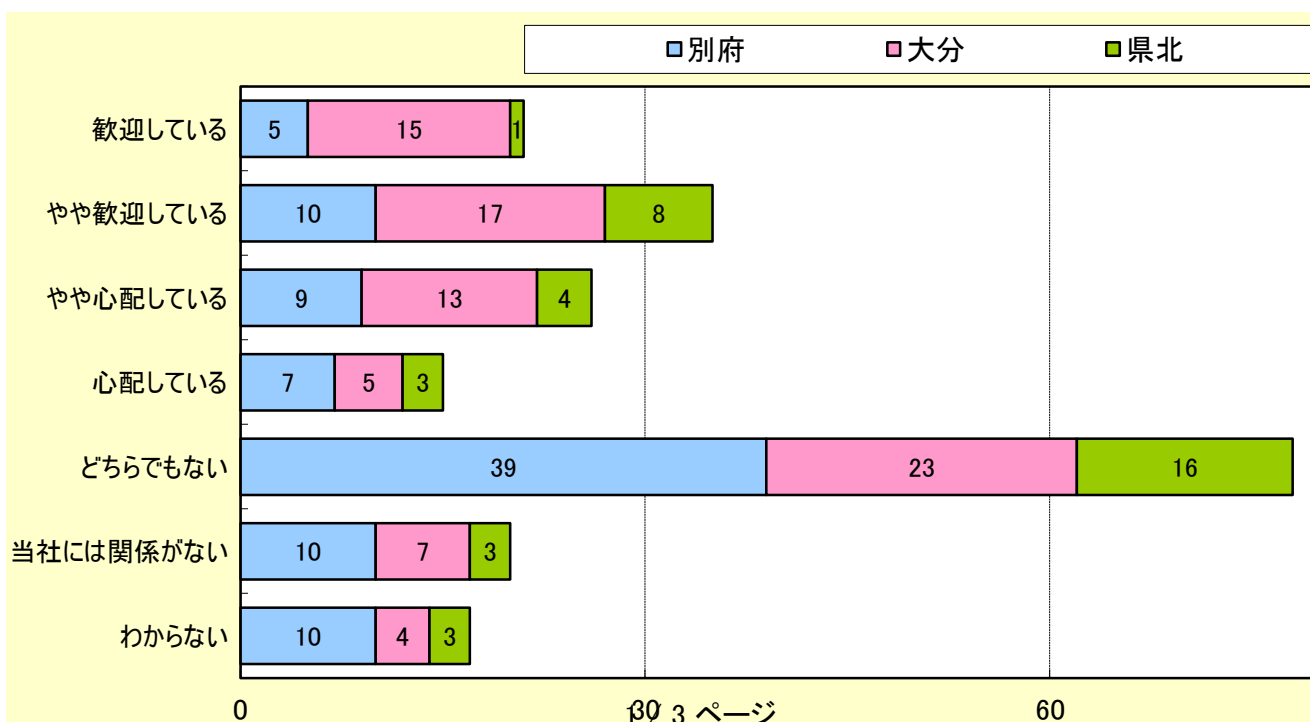
(これまでの実感)



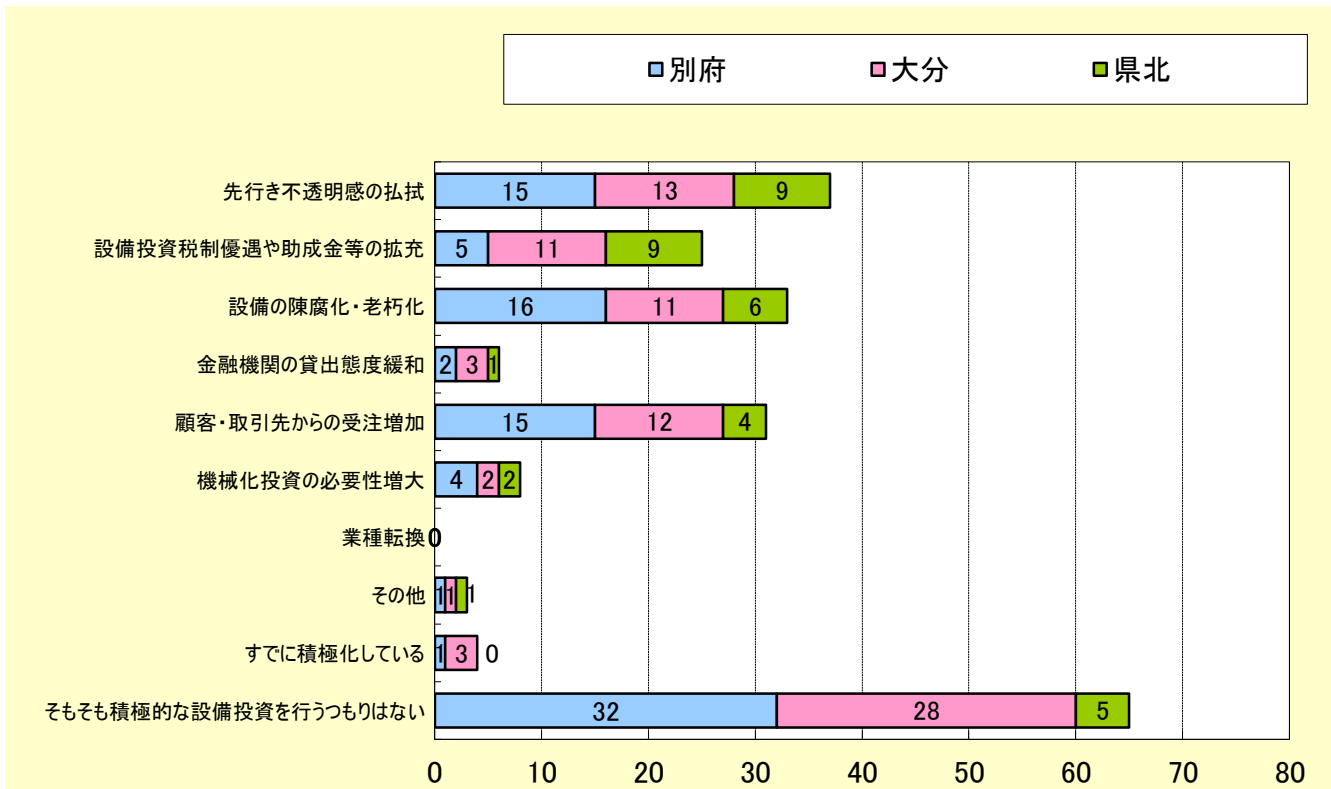
(今後の期待感)



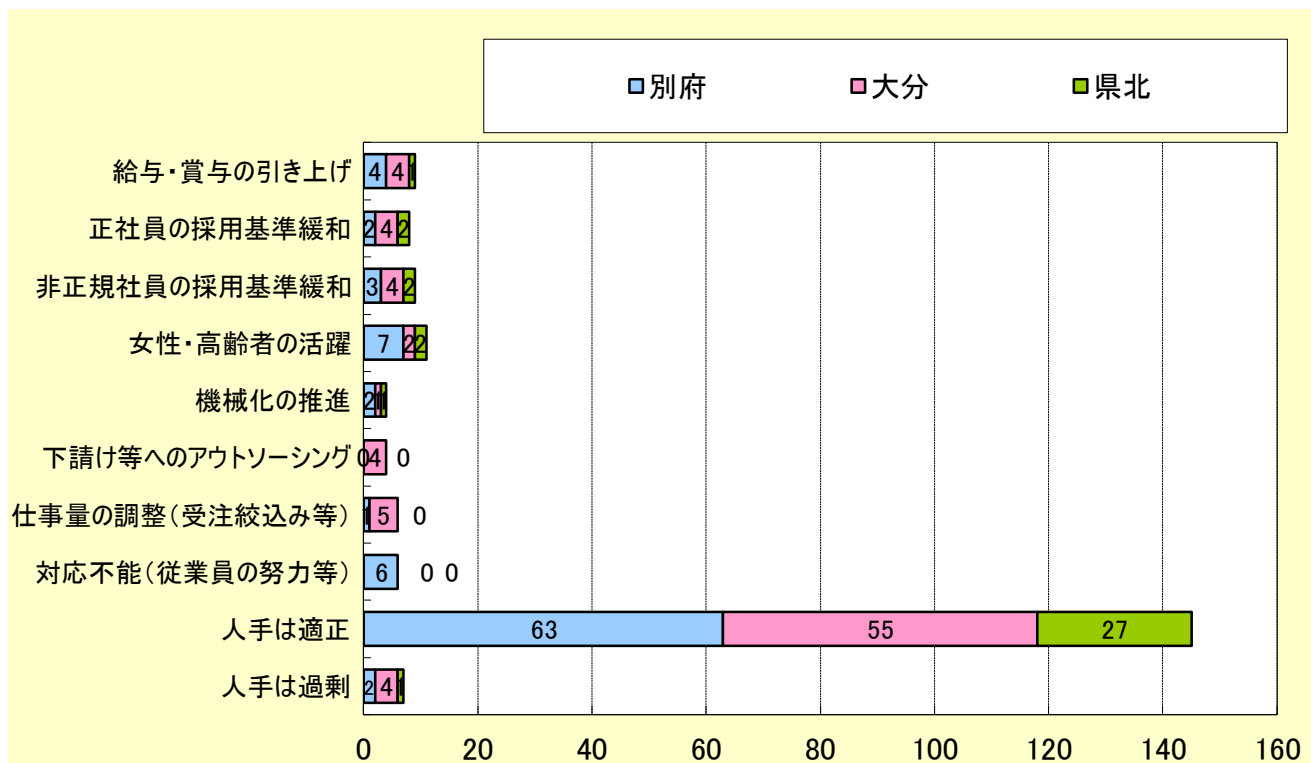
問2 政府が掲げる『成長戦略』では、「法人税率の軽減」と、「代替財源として課税範囲の拡大・見直し」が提唱されています。貴社では、法人税制改正案についてどのように捉えていますか、次の1～7より1つお答えください。



問3 政府はこれまで、『成長戦略』の中で企業の設備投資を促しています。こうしたなか、貴社では、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。次の1～0より1つお答えください。



問4 一部の地域や業種を中心に人手不足が深刻化していますが、貴社における人材の現況はどうなっていますか。人手不足の方は、人手不足にどう対応しているかについて最も当てはまるものを1～8より1つお答えください。また、人手は適正という方は9と、人では過剰という方は0とお答えください。



問5 政府の『成長戦略』では、訪日外国人の増加や外国人技能実習制度の見直しなど、外国人の関わりを増やすような政策が提唱されています。貴社では、外国人との関わりの増加にどのような期待感を持っていますか。次の1～0より1つお答えください。

